

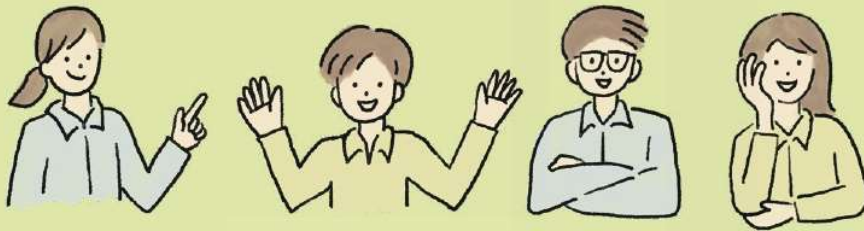
わたしたちの

BIHORO

まちづくり

アクションプラン

とにかくやってみよう！
きっと応援してくれるひとがいるはず
だってBIHOROだもん



町民主体でできるまちづくり（取組）をまとめた計画です

美幌町では、全ての分野においてまちづくりの方針を定める町の最上位計画「美幌町総合計画」を策定しています。第6期総合計画が令和8年度をもって終了することから、令和7年度から2年間かけて、第7期総合計画の策定に向けて、アンケートの実施や会議の開催を通して、町民の皆さまから多くの意見をいただきました。

その意見の中には、行政（役場）に対する意見はもちろんですが、行政だけではなく、町民や町内の団体・事業者など地域の皆さまが主体となることができること、といった意見も多く挙げられました。

そのような若者から大人、高齢者や町内の団体・事業者が「自分たちにもできそうなこと」を持ち寄り、実行までのプランとして整理したのが、この「BIHOROまちづくりアクションプラン」です。総合計画が行政主体のまちづくりの指針となり、このアクションプランは町民主体のまちづくりの指針となりますので、総合計画のいわば別冊に位置付けることとします。

＜人口減少社会において、町民とまちづくりのつながりが重要です＞

人口減少が進む中、少しでもまちづくりに参加する「人」と「機会」を増やすことが重要です。行政だけでなく、町民が主体となる取組をあわせて進め、地域全体、まちぐるみでまちづくりを進めることを目指します。

＜合言葉は、「まずはやってみよう！」＞

別冊を作成する議論の中では、「まずはやってみよう！」と声をあげたら、応援する人や協力する人が現れるのが、美幌町の良いところでした。

このBIHOROまちづくりアクションプランの合言葉は、「まずはやってみよう！」です。小さな活動やできることからでも十分です。まちぐるみで、これからの美幌町をつくりましょう！

- 例えば…
- ・美幌町の好きなところをSNSで紹介する。
 - ・地域のお祭りを少し手伝う。
 - ・子供向けの農業体験を企画する。
 - ・高校生が集まれる場所をつくる

そんな小さな一歩から、美幌町のまちづくりが始まります。

6つの「やってみよう！」

アクションプラン策定のために挙げられた意見を、大きく次の6つの「やってみよう」に整理しました。

1. 共創の場を始めよう

町民同士が気軽に出会い、語り、アイデアを出し合い、「それならやってみよう」とチャレンジにつながる場を始めます。

2. やってみたい若者を応援しよう

子どもや若者の挑戦を応援することで、美幌町を子どもや若者のチャレンジにあふれるまちにします。

3. 体験型観光でまちの魅力を高めよう

農業や食、特産品を活かしたイベントなど、美幌町ならではの特色や資源を体験型観光につなげます。町民が案内役や担い手となり、観光客など町外の人との交流を広げ、「また来たいまち」につなげます。

4. まちなかのにぎわいをつくろう

まちなかにある、空き店舗や空きスペース、公共施設を利用して、町民が集まり、活動し、交流できる場をつくり、まちなかのにぎわいをつくれます。

5. びほろの魅力を発信しよう

美幌町の農産物や自然、歴史、イベント、暮らしなどの魅力を、みんなでSNSや動画、冊子や口コミなどで発信します。みんなが「まちの好きなところ」をつたえることで、町内外に美幌町のファンを広げます。

6. みんなで地域コミュニティを支えよう

町民一人ひとりが「できるときに」「できることで」地域に関わります。

見守りや声かけ、支え合い、子どもや高齢者の居場所づくりなど、小さな活動から始めます。

1. 共創の場を始めよう

スタートアッププログラム ～まずはここからスタートしよう！～

① 共創の場づくり ～まずは気軽に集まれる場をつくり話そう！～

- ・ 総合計画別冊の編集委員などが中心になって、声かけを行い定期的に町民・高校生・事業者などが集まる場＝共創の場をつくれます。そして共創の場の輪を広げていきます。
- ・ 共創の場では、企画を持ち寄り、小さなまちづくりのアクションを始めます。

② 「びほろまちづくりカフェ・放課後カフェ」の試行

- ・ 商店街の空き店舗や空きスペースなどを活用し、高校生や若者から高齢者まで、町民が誰でも気軽に集まれる場を月1回程度開催します。

Coming soon プログラム ～これもやってみたい！～

- ・ 常設の町民交流拠点やコミュニティスペースの整備
- ・ 外国人住民との定期的な交流会の開催
- ・ 美幌町出身者や関係人口とのネットワークづくり
- ・ 町民のアイデアを少額で応援する助成制度
- ・ 若者カフェや高齢者カフェ、美高カフェなど、多様な主体との継続的な連携

2. やってみたい若者を応援しよう

スタートアッププログラム ～まずはここからスタートしよう！～

① 高校生のマルシェやキッチンカーの出店を応援しよう

- ・ 商店街と連携した高校生のマルシェやキッチンカーの出店、イベント実施を応援します。
- ・ 高校生が中心となって放課後子ども向け学習支援の場づくりを学校や商店街、地域などが応援します。

② 高校生・若者ボランティア登録

- ・ 地域行事、子ども向けイベント、スポーツ活動などで手伝える高校生・若者を登録し、単発で参加できる仕組みをつくります。
- ・ 活動証明書やボランティア証明を発行することで、参加の動機づけにもつながります。

Coming soon プログラム ～これもやってみたい！～

- ・ 子ども食堂と連携した、誰でも通えるフリーの私塾開設
- ・ 保育付き学習・交流スペース
- ・ 地域スポーツクラブや指導補助
- ・ 放課後の常設学習スペース
- ・ 高校生が地域の仕事を知る職業体験
- ・ 高校卒業後も美幌町とつながる若者ネットワーク

3. 体験型観光でまちの魅力を高めよう

スタートアッププログラム ～まずはここからスタートしよう！～

① 朝採れ農産物の収穫、試食体験

- ・ 朝採れアスパラなど、一つの作物、一つの農場に限定した小規模な体験から始めます。
- ・ 体験時間を短くするなど、農家の負担を抑えることがポイントです。

② びほろ農業体験デーの開催

- ・ 農家や美幌高校と連携し、小中学生や町民を対象に、半日程度の農業体験を行います。
- ・ ジャガイモ掘り、農産物の収穫、農産物の試食、スマート農業の見学などが行います。

③ 町民向け「びほろまち歩き」

- ・ 町民や高校生がおすすめする店、景色、歴史、食などをつなぎ、1～2時間程度のまち歩きを実施します。
- ・ 最初は町民向けのモニター企画として実施し、その後、観光客向けの体験に発展させます。

Coming soon プログラム ～これもやってみたい！～

- ・ 農業や酪農体験メニューの通年化
- ・ 町民観光ガイドの育成
- ・ 美幌高校によるザリガニを活用した体験
- ・ 町民が地元農産物を気軽に買うことができる仕組みづくり
- ・ メイプルシロップなど、特産品を活用した商品化・まちのブランド化
- ・ 町内でビアガーデン

4. まちなかのにぎわいをつくろう

スタートアッププログラム ～まずはここからスタートしよう！～

① 既存のイベントと連携した「まちなかお試しイベント」

- ・ 単独で新しいイベントを立ち上げるのではなく、既存イベントに次の企画を加えます。
- ・ キッチンカー、野菜・加工品販売、フリーマーケット、高校生カフェ、ミニライブなどがあげられます。

② 空きスペースを活用した 1 日販売会・交流会

- ・ 空き店舗の軒先や公共施設の一角などで、1 日限定の販売会や交流会を実施します。
- ・ 販売だけでなく、ボードゲーム、子どもの遊び、試食、作品展示などを組み合わせることもできます。

③ 小規模な商店街回遊企画

- ・ ガチャガチャ、スタンプラリー、宝探しなどによる、商店街内の店舗を回る企画を実施します。
- ・ 参加する店舗や実施期間を限定し小規模で実施することがポイントです。

④ ギネス記録への挑戦

- ・ アスパラなどの農産物を使ったイベントや、美幌のまち全体を使った宝探しなど、町民みんなでギネス記録に挑戦します。
- ・ 町民全体で、農産物やまちの魅力を広く知らしめることにつなげます。

Coming soon プログラム ～これもやってみたい！～

- ・ 月 1 回の定期的なまちなか実験
- ・ 歩行者天国にしてイベント開催
- ・ ストリートピアノや野外音楽イベントの開催
- ・ 空き店舗を活用した常設の交流拠点の設置

5. びほろの魅力を発信しよう

スタートアッププログラム ～まずはここからスタートしよう！～

① 町民による「びほろ発信隊」の立ち上げ

- ・ 高校生や若者など町民数名で小さな情報発信チームを作り、まずは月1～2回のSNSへの投稿から始めます。
- ・ 高校生がおすすめするスポットや地元の人しか知らないグルメなどを発信します。

② 「私の好きな美幌町」投稿募集

- ・ 町民から写真とコメントを募集し、SNSや町の広報誌などで紹介します。
- ・ ①の発信隊だけでなく、町民誰もが気軽に魅力発信に参加できる仕組みにします。

③ 美幌町人物図鑑の発信

- ・ 美幌町に住む人の好きなこと、得意なことを紹介しSNSやパンフレットで発信します。
- ・ 住む人にも訪れる人にも美幌町の人々の魅力を感じてもらえるようにします。

③ 「6つのやってみよう」の発信

- ・ このアクションプランに並ぶ「6つのやってみよう」の活動取材して、町内外へ発信します。

Coming soon プログラム ～これもやってみたい！～

- ・ 町民編集による美幌町の情報冊子の発行
- ・ 高校生が制作する観光パンフレット
- ・ 発信のための写真や動画講座の開催
- ・ デジタルマップの作成
- ・ 情報発信と特産品販売やふるさと納税との連携

6. みんなで地域コミュニティを支えよう

スタートアッププログラム ～まずはここからスタートしよう！～

① 地域活動の「ちょこっとお手伝い募集」

- ・ 自治会など地域団体がイベントの準備や運営、地域の清掃、情報発信など、短期間でできる仕事を高校生など町民を対象に、参加者を募集します。

② 「できること登録カード」の発行

- ・ 「スマホを教えられる」「イベントを手伝える」「除雪や清掃を手伝える」など、自分のできることを簡単なカードやフォームで登録します。
- ・ 地域住民からの要請に応じて、登録者が自分のできることのお手伝いをします。

③ 高校生によるスマホ相談室

- ・ 高校生が高齢者などを対象に、スマートフォンやLINE、写真撮影などを教える教室を開催します。
- ・ 高齢者との世代間交流にもつながります。

Coming soon プログラム ～これもやってみたい！～

- ・ 「びほろ・ちょこっとサポーター制度」の運用
- ・ 高校生などへのボランティア証明書の発行
- ・ 買い物や移動、災害時の助け合いなど、支え合いの仕組みづくり
- ・ 子どもや高齢者の居場所づくり
- ・ 地域活動のデジタル化支援
- ・ 複数の地域コミュニティと団体、NPO、企業との連携体制構築

あなたも、なにかやってみませんか？

- ・ 気になる活動に参加してみたい。
- ・ 自分のアイデアを相談したい。
- ・ 場所や道具を提供できる。
- ・ イベント運営やSNSでの情報発信を手伝いたい。
- ・ 何か力になりたい。

どんな関わり方でも大歓迎です。

やってみたいことがあれば、教えてください

【問い合わせ先】 美幌町役場総務部 政策推進課政策統計グループ

TEL : 0152-77-6529

E-mail : seisakug@town.bihoro.Hokkaido.jp



なにかやってみたい！手伝えるかも！
と思った方はこちらのオープンチャットに
お気軽に参加してください♪

「美幌町やってみよう！プロジェクト」

オープンチャット